

ほっと京たなべ

ナルホドを＼やってみよう／につなぐ広報紙

11

Nov.2023
No.930

【特集】未来への扉を開ける！

大学×地域で動く多彩なプロジェクト



科学

の実験にかかへ



注目情報



11ページ 魅力☆発見バスツアー

16ページ 子どもの主張大会

21ページ 冬休み留守家庭児童会入会受け付け

挟み込み

学びをテーマにした3つの事業

同志社大学 サイエンスアカデミー

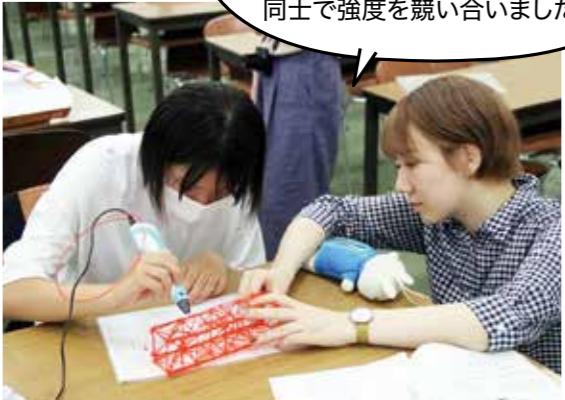
理科への興味を引きつける

理系学部の学びの拠点である同志社大学京田辺キャンパス。全国的な「理科離れ」が課題となる中、子どもたちに理科に興味・関心を持ってもらうため、同大学の教員や学生が楽しく科学を教えるイベントを毎年開いています。

7月28日、身近な物を使った実験やものづくり体験を通して、科学の面白さや奥深さを参加した小・中学生87人に伝えました。

3Dペンを使って自分だけの強い橋を作ろう

樹脂を流し、立体を作ることができる3Dペンを使い、鉄橋構造のトラス橋を作成。完成後、参加者同士で強度を競い合いました。



光の実験! 箱の中で虹をつくる

分光器を組み立て、のぞき込むことで光と色の仕組みを理解。

画像AIを体験しよう

カメラで撮影した画像をコンピューターに学習させて、手の動きに合わせてキャラクターが動くAIを作成。



▼子どもが科学に興味を持つ動機付けになりそうなものばかりで良かった。▼1時間で何個も科学マジックを体験できて期待以上だった。▼学生がユーモアを交えつつ、科学の話をかみ砕いて分かりやすく教えてくれて楽しかった。▼目に見えて分かる科学の不思議に触れることができ、科学に興味を持つきっかけになった。



同志社女子大学 音楽によるアウトリーチ

生演奏を披露

同志社女子大学学芸学部音楽学科の学生が小学校を訪れ、児童に音楽の楽しさを伝えるプログラムを、平成30年から毎年行っています。

普段見慣れない楽器の紹介や生演奏のほか、イントロクイズやピアノの連弾など、学年ごとに趣向を凝らしながら、音楽の魅力を伝えています。児童からは「いつも聞いている曲を生で聴けて感動した」「つい口ずさんでしまうくらい楽しかった」と好評です。

【特集】未来への扉を開ける!

大学×地域で動く多彩なプロジェクト



すぐできる“科学”マジック
「こぼれない水」「浮かんだり沈んだり」などの科学の仕組みを利用したマジックを体験。



市の大学連携の歩み

平成17年、市は、市内に立地する同志社大学・同志社女子大学と連携協定を締結しました。以後、行政・大学・教育機関がともに手を携えて、年間100件を超える連携事業を展開しています。

また、市史編さん事業において学術的な協力を得ているほか、市職員を派遣するなど関係を深めていた京都府立大学と、令和4年3月に連携協定を新たに締結しました。

市は、同志社大学・同志社女子大学・京都府立大学と連携協定を結ぶほか、摂南大学などに研究を委託するなど、各大学との関係を深めています。また、「知の拠点化」を目指すため、各大学が有する豊富な知識・技術・人材との多様な連携や交流を展開しています。今号では、「大学のあるまち」の特色を生かした、市と大学とのつながりの一部を紹介します。

問合せ先=市民参画課 (☎ 64-1314)

京都府立大学 地域学習授業

地域の歴史を巡って解説



京都府立大学文学部歴史学科の学生が、子どもたちに地域への愛着を深めてもらうため、小学校周辺の歴史スポットを巡りながら児童に解説しています。

昨年11月、学生が三山木小学校を訪れ、児童とともに社寺や茶畠を巡り、手作りのボードなどを使いながら、社寺の名前の由来や歴史などを分かりやすく説明しました。



ビールの原料となる大麦と一緒に育てませんか？

参加者
募集

日時＝11月19日(日)午後

場所＝岡村区公民館裏の農地(大住)。駐車場
があります。

内容＝大麦の種まきをみんなで行います。

詳細が決まり次第、京田辺農福観地域づくり協議会インスタグラム(=2次元コード)でお知らせします。



大麦を収穫する
参加者の皆さん



申込・問合せ先＝京田辺農福観地域づくり協議会・岡本(✉ kazu8810@nike.eonet.ne.jp)

昨年度の研究成果を紹介

昨年度の「市大学連携地域貢献研究事業」の研究成果を、市ホームページで公開しています。



農と食を活用した市民主導型まちづくりの推進～地元産大麦とマコモタケの商品化の試みを軸として～
摂南大学農学部応用生物科学科
特任助教の沼本 穂さん



遠く離れた京田辺の文化財をもっと身近に～市外所在京田辺出土文化財の3D化と活用方法の模索～
京都府立大学文学部歴史学科
准教授の諫早 直人さん



京田辺市における新しい観光マップの作成を通じた地域理解の促進を目指す実践的研究
同志社女子大学現代社会学部
社会システム学科教授の天野 太郎さん

研究ニーズバンク

大学に研究してほしいテーマを募集

市は、市内で活動する団体などが抱える地域課題を取りまとめ、研究テーマとして大学に提供する「市研究ニーズバンク」を設置しています。同バンクに登録された内容は、大学の研究者へ提供され、研究テーマの検討資料として活用されます。応募方法については、市ホームページをご覧ください。

田辺独自の品種にしていきた
いと思います。
—市民との関わりは
本プロジェクトは、市民の皆さんと協力してコミュニティの形成を促進することを最大の目標にしています。農業と特産化への取り組みはそのきっかけづくりです。私たちは、市内の魅力や課題についてゼミで学ぶほか、L.O.V.E.京田辺マルシェへの出店や、南部まちづくりセンターへの訪問を通じて、市民の皆さんとの接点を増やしてきました。京田辺農福観地域づくり協議会と共に取り組んできた大麦の栽培は、市民

の皆さんに広く参加を呼び掛けた結果、親子連れなど幅広い年代の方々にご協力いただき、種まきの時は7人だったのが、収穫時には30人まで増えていました。

—今後のビジョンは
まずは、京田辺産の原料を使ったビールを商品化したいです。大麦の栽培面積を拡大して市民まつりなどのイベントで販売するこれが目標です。さらに、ホップも市内で生産し、100%京田辺産のビールを目指します。

次に、市民の皆さんと農業の高齢化により拡大する耕作

放棄地や農業の人手不足の解消につながることを期待しています。さらに、そこから新たな京田辺の特産を生み出ことで、市内の地域活性化貢献できればうれしいです。

—市民の皆さんにメッセージ
プロジェクトの参加者にとって、新たな学びや貴重な経験が得られる場になればと考

えて、新たに農業や作物に触れるような機会を増やしていきたいです。例えば、家庭や公共施設などでホップのグリーンカーテン作りなどを楽しんだりして、「ビールのまち」を印象付けるような取り組みも、地域のブランド化としては面白いのではないで

しょうか。これらの取り組みは、農家の高齢化により拡大する耕作

放棄地や農業の人手不足の解消につながることを期待しています。さらに、そこから新たな京田辺の特産を生み出ことで、市内の地域活性化貢献できればうれしいです。



摂南大学
SETSUDAI 農学部応用生物科学科

特任助教 沼本 穂さん(40)

ストレス発散のため、手の込んだ料理を作ることが好きです。

専任講師 田中 茂幸さん(42)

海外旅行が趣味で、今まで行った国は30カ国にも上ります。

農学部食農ビジネス学科

准教授 中塚 華奈さん(53)

京田辺の温泉施設が最近のお気に入り。風呂上がりに食べるソフトクリームが格別です。

国際学部国際学科

特任講師 小林 基さん(32)

カラオケが趣味で、最近は「田辺音頭」と「京田辺市の歌」を練習しています。



ホップでできたアーチの中で、試作した京たなビールを手に持つ沼本さん(前列右)・田中さん(後列右)・中塚さん(前列左)・小林さん(後列左)

プロジェクトの概要と研究の進展は

京田辺市における縁農ネットワーク形成

研究テーマ

農地で栽培し、約40kgを収穫することができます。ホップの栽培はうまくいかなかつたので、気候が近い近隣市のものを使い、300本のビール試作品を完成させました。

生産に携わった関係者約80人

を招いた試飲会では、「すつきりとした味わいで飲みやすい」などの感想をいただきました。

農地で栽培し、約40kgを収穫することができます。ホップの栽培はうまくいかなかつたので、気候が近い近隣市のものを使い、300本のビール試作品を完成させました。

生産に携わった関係者約80人

を招いた試飲会では、「すつきりとした味わいで飲みやすい」などの感想をいただきました。

農地で栽培し、約40kgを収穫することができます。ホップの栽培はうまくいかなかつたので、気候が近い近隣市のものを使い、300本のビール試作品を完成させました。

生産に携わった関係者約80人

を招いた試飲会では、「すつきりとした味わいで飲みやすい」などの感想をいただきました。

農地で栽培し、約40kgを収穫

することができます。ホップの栽培はうまくいかなかつたので、気候が近い近隣市のものを使い、300本のビ

ル試作品を完成させました。

生産に携わった関係者約80人

を招いた試飲会では、「すつき

りとした味わいで飲みやすい」

などの感想をいただきました。

農地で栽培し、約40kgを収穫

することができます。ホップの栽培はうまくいかなかつたので、気候が近い近隣市のものを使い、300本のビ

同志社女子大学まちづくり委員会

学生による地域連携プロジェクト



Interview

現代社会学部
社会システム学科3年生

藤本 愛果さん(右)
和田 朋さん(中)
廣橋 佐紀さん(左)

市民の皆さんと一緒に京田辺を盛り上げたい

「苦労することは
メンバーガ100人以上いるので、情報共有に苦労します。各チームごとに随時ミーティングを行っていますが、全体では月1回集まつて、活

入学時、学内で配られていた同委員会発行のフリーペーパーを手にしたことがきっかけです。「地域の人と関わりたかった」「入学の目的である観光・地域活性化に関われる」など理由はさまざまですが、3人とも自己実現の場だと感じ、同委員会のドアを叩きました。

現在、進行しているプロジェクトは全部で10あります。各プロジェクトは、メンバーの思いで立ち上げるほか、団体・企業・行政からの依頼や、大会・コンテストへの出場がきっかけとなることもあります。各チームは10～30人程度で構成され、複数を掛け持つするメンバーもいます。

まちづくり委員会に所属する3人の学生に、同団体の活動内容や思いなどを伺いました。

加入したきっかけは

入学時、学内で配られていた同委員会発行のフリーペーパーを手にしたことがきっかけです。「地域の人と関わりたかった」「入学の目的である観光・地域活性化に関われる」など理由はさまざまですが、3人とも自己実現の場だと感じ、同委員会のドアを叩きました。

活動の進ちょく状況を共有しています。また、プロジェクトの実施直前には、学業やアルバイトなど通常の活動をしながら、夜遅くまで作業に取り組むこともあります。

工夫していることは

プロジェクトが単なる自己満足で終わらないように、相手が望んでいることを把握し、寄り添ったものになるよう心掛けています。例えば、対象が子どもであれば、「飽きさせない」「簡単にできる」を重視するほか、展示物であれば、「見て楽しく良い気分になる」ものを目指します。

また、メンバー内では、プロジェクトを通じて全員が成功体験を得られるように一人ひとりに役割を与えていま

コロナ禍で増えた在宅時間に、楽しくお茶に親しんでもらおうと、市内の茶業者と協力して、新たなフレーバーティーを開発・販売しました。煎茶をベースにブドウやモモ風味に仕上げた同商品は、京田辺ブランド一休品に認定されているほか、ふるさと納税の返礼品にもなっています。

商品内容など詳しくは、同志社女子大学ホームページ(=2次元コード)を確認してください。



京田辺ふれんずプロジェクト



学童の児童に楽しく放課後を過ごしてもらうため、手紙の交換(=写真)をはじめ、ドッジボールや大縄跳びなどで一緒に遊んでいます。文字や絵を描くことで、表現する楽しさを感じてもらい、相談相手にもなっています。



京田辺を象徴するイラストが描かれたタペストリーを背に、京田辺音楽家協会理事長の竿下和美さん(右)と学生ら

京田辺彩りプロジェクト

アートの力で京田辺を明るく彩り、たくさんの人の心を癒やすため、昨秋、タペストリーを制作し多くの客でにぎわうアル・プラザ京田辺に設置しました。

また、7月には京田辺音楽家協会と一緒に、一日中音楽が聞こえる空間づくりのため、プロ・アマ・学生問わず演奏者が集うミュージックストリートを店内で開きました。

市民の皆さんと手を取り合って、京田辺の皆さんとの関係性をより深めていくことが必要だと考えています。

また、市内には、「このまちをもっと良くしたい」と高い熱量を持つ市民団体があります。それらの団体の皆さんと共に、魅力的なプロジェクトに発展させていきたいです。

今後、展開するさまざまなプロジェクトにおいて、皆さんとお会いできることを楽しんでいます。

まちづくり委員会での経験を行政に
出身者が市役所で活躍



市役所では、まちづくり委員会出身の2人の職員が働いています。委員会で培った貴重な経験を現在に生かしています。



フレーバーティープロジェクト



「まちづくり委員会」は、平成29年に発足した同志社女子大学の学生団体です。学生の多くは市外に住んでいますが、京田辺市を「第2のふるさと」と自慢できるようなまちにするため、市内の子どもや高齢者と交流したり、団体・企業などと連携したりしながら一緒に地域を盛り上げています。結成当時は20人弱でスタートしましたが、現在は100人を超える規模にまで成長し、学生が主体となって、さまざまなプロジェクトを開催しています。

プロジェクトの一部を紹介します。



全体ミーティングの様子

市税などの納期限

種別	納期限	問合せ先
市・府民税 (第3期)	11月30日(木)	税務課 ☎ 64-1318
国民健康保険税 (第6期)		国保医療課 ☎ 64-1332
後期高齢者医療保険料 (第5期)		国保医療課 ☎ 64-1374

▼納期限内に納付されなかったときは、督促手数料200円を加算し、督促状を発送します。

▼滞納した場合、延滞金を徴収することがあります。また、滞納分の税の徴収は京都地方税機構が行います。

▼口座振替・自動払込の人は、納期限の前日までに登録口座の預貯金残高を確認してください。

エルeL-QR（地方税統一QRコード）を使ったキャッシュレス納税

市税の納付書には、eL-QR（地方税統一QRコード）が印字されています。スマートフォンアプリ（PayPay・auPAY・d払いなど）から直接「eL-QR」を読み取ると納付できます。利用可能なスマートフォンアプリなど、詳しくは地方税お支払サイト（=2次元コード）をご覧ください。



対象=市・府民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）

問合せ先=税務課（☎ 64-1318）

税を考える週間

11月11～17日は、税を考える週間です。市は、「税金でつくられているもの」をテーマに小学生の絵画展を行います。

期間=11月13日(月)～17日(金)

場所=市役所2階市民ロビー

問合せ先=税務課（☎ 64-1317）



昨年の展示作品

医療費控除の明細が省略できる「医療費通知」を2回に分けて郵送

市は、国民健康保険の被保険者に、医療費通知を郵送します。同通知は、確定申告や市・府民税の申告で医療費控除の明細書を提出する際、明細の記入を省略できます。

送付時期・内容=①令和6年1月下旬～1～10月受診分②令和6年3月初旬～11・12月受診分

②の送付前に申告する場合は、領収書を参照の上、明細書に11・12月受診分の明細を記入してください。

対象=①は10月末時点、②は12月末時点の国民健康保険の被保険者

対象外の人が同通知が必要な場合は問い合わせてください。

問合せ先=国保医療課（☎ 64-1332）

エルeL-QR（地方税統一QRコード）を使ったキャッシュレス納税

市税の納付書には、eL-QR（地方税統一QRコード）が印字されています。スマートフォンアプリ（PayPay・auPAY・d払いなど）から直接「eL-QR」を読み取ると納付できます。利用可能なスマートフォンアプリなど、詳しくは地方税お支払サイト（=2次元コード）をご覧ください。



対象=市・府民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）

問合せ先=税務課（☎ 64-1318）

宝くじ助成事業を活用

江津区自主防災会は、令和5年度コミュニティ助成事業を活用し、デジタル簡易無線機・発電機・ダンボールトイレ・AEDなどの防災備品を整備しました。

同事業は、財自治総合センターが、地域コミュニティの健全な発展と宝くじの社会貢献広報を目的として行っている助成事業で、皆さん購入した宝くじの収益が財源となっています。同事業に関心がある自主防災組織は問い合わせてください。

問合せ先=安心まちづくり室（☎ 64-1307）



人と動物のより良い関係づくり

◎犬は責任を持って正しく飼いましょう

11月は「犬の適正飼養推進月間」です。犬の飼い方を見つめ直し、マナーを守って正しく飼いましょう。

■ふんは持ち帰り、尿は洗い流しましょう

「家の前に犬のふんを放置される」「家の前の電柱に尿をされて臭いがひどい」などの苦情が寄せられています。散歩にはふんの回収道具とペットボトルなどの水を持参して、ふんは持ち帰り、排尿後は洗い流しましょう。

■散歩中はリードでつなぎましょう

リードなしの散歩は、府の条例で禁止されています。また、長すぎるリードの使用も、犬を制御できず危険なためやめましょう。飼い主に対しては従順でおとなしい犬でも、散歩中に驚いて逃げ出したり、他人に危害を加えたりすることがあります。

■狂犬病予防注射はお済みですか

生後91日以上の犬には、一生に1回の登録と年1回の狂犬病予防注射の接種が法律で義務付けられています。まだ接種していない場合は、12月31までに動物病院などで接種してください。

申請・問合せ先=環境課（☎ 64-1366）

NEW

◎飼い主のいない猫不妊去勢手術費の補助がスタート



市は、飼い主のいない猫の繁殖を抑制するほか、動物愛護や適正な飼育を啓発するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費を補助する制度を始めました。

対象=次のすべてを満たす団体

▼代表者が市内に在住するか、市内に在住する2人以上のグループで構成する▼過去3年以内に、市内に生息する飼い主のいない猫を捕獲し、不妊去勢手術を2匹以上行っている▼補助対象となる猫に耳カット（不妊去勢手術済みの目印）の施術を行う▼不妊去勢手術を行った日から180日以内である

補助額（上限）=1匹当たり5,000円

予算額に達した場合は、受け付けを終了します。

申請方法=市ホームページか環境課にある申請書を記入し、必要書類を添えて申請してください。

11月15日午前11時

防災情報メール配信訓練

地震・風水害などの発生に備え、Jアラート（全国瞬時警報システム）を使った情報伝達訓練を行います。

市では、防災情報メール・LINE（ライン）・電話・FAXなどで情報伝達を行いますので、登録済みの人は必要に応じてマナーモードにするなど、協力をお願いします。

配信日時=11月15日(水)午前11時ごろ

■防災情報メールは安心への第一歩

防災情報メールに登録すると、震度4以上の地震や気象警報などの防災情報のほか、市が発令する避難指示など、緊急性の高い情報が全国どこにいても電子メールで届きます。まだ登録していない人は、災害への備えとして登録しましょう。

登録方法=次の専用ホームページにアクセスし、画面に従って登録してください。



▼パソコン・スマートフォンから(左)

▼スマートフォン（ガラケー）から(右)

■障がいのある人へは電話・FAXでも配信

防災情報は、登録すれば次の方法でも配信します。

配信対象・方法=▼聴覚に障がいがあり、障害者手帳を持っている人…FAX▼視覚に障がいがあり、障害者手帳を持っている人…電話

申込方法=健康福祉政策推進室（☎ 64-1370、FAX 63-5777）にある申込書を提出してください。

市公式LINE (=2次元コード)
ID検索「@kyotanabe_city」
でも登録できます。



問合せ先=安心まちづくり室（☎ 64-1307）

農薬や工業薬品などの毒物や劇物適正な取り扱いを

毎年11月は「毒物劇物危害防止運動」を行っています。毒物や劇物は、私たちの身近な場所で農薬や燃料などとして使用されており、取り扱いを間違えると吸引や接触などによって中毒になるなど、人体への影響が大きいため十分な注意が必要です。毒物や劇物を取り扱う際には次のことを守りましょう。

▼正しい使用方法を確認する

▼保管場所には、「医薬用外毒物」・「医薬用外劇物」と表示する。容器や被包には、「医薬用外」と表示、赤地に白色で「毒物」・白地に赤色で「劇物」と表示しなければならない（=右図）

医薬用外毒物

医薬用外劇物

▼毒劇物の容器として、飲食物の容器を使わない・移し替えない

▼専用の保管庫に入れ、毒物や劇物以外のものとは一緒に保管しない

▼保管庫は、鍵付きの強固な材質（鉄製など）のものを使う

▼常に在庫を確認する

▼盗難に遭ったり紛失したりした場合は、すぐに警察に届ける

▼飛散・流出などさせた場合で、他の住民への危害が生ずると考えられる場合は、すぐに保健所・警察署・消防機関に届ける

▼決められた方法で廃棄する

問合せ先=山城北保健所衛生課（☎ 21-2198）

車に乗る機会が増える行楽シーズンはじめようエコドライブ

エコドライブは、低燃費で安全を考えた運転です。自家用車による年間CO₂排出量は1億303万トンといわれています。もし、みんながエコドライバーになれば、その10%程度のCO₂排出量が削減でき、地球温暖化対策につながります。

行楽シーズンで自動車に乗る機会が増えるこの時季に、日々の燃費を把握することで効果が実感できるエコドライブを実践しましょう。詳しくは、環境省ホームページ（=2次元コード）をご覧ください。



新西浜樋門の工事に伴いサイクリングロードに迂回路を設置

国土交通省は、田辺地区の治水機能を向上させるため、新西浜樋門の築造工事を行います。同工事に伴い、田辺木津川つつみ緑地の一部が利用できなくなります。京奈和自転車道（サイクリングロード）を行く際は、設置する迂回（うかい）路を利用してください。

工事期間＝11月から（令和7年6月に終了予定）

問合せ先＝▼工事・自転車道の迂回に関すること…国土交通省淀川河川事務所木津川出張所（☎62-0075）
▼公園の利用などに関すること…公園緑地課（☎64-1344）



秋の火災予防運動

11月9～15日は、秋の火災予防運動期間です。秋・冬は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。火災予防の意識を持ち、大切な命と財産を守りましょう。

全国防火標語＝火を消して不安を消して つなぐ未来市防火標語＝防火の手 ひろげて守ろう！安心のまち

■命を守る10のポイント

【4つの習慣】

▼寝たばこはしない・させない
▼ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
▼ガスコンロを使うときは火のそばを離れない
▼コンセントのほこりを掃除し、不要なプラグは抜く

【6つの対策】

▼ストーブやコンロなどは安全装置付きの機器を使用する
▼住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検する
▼部屋を整理整頓し、寝具・衣類・カーテンは防炎製品を使用する
▼住宅用消火器などを設置し、使い方を確認する
▼避難経路と避難方法を確認する
▼防火防災訓練への参加や戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



まさか！を伝える住宅用火災警報器～点検・交換を忘れずに～

住宅用火災警報器は、火災の発生を早期に気付かせてくれることで、逃げ遅れによる被害を防ぎます。

■高い効果を発揮

令和3年中の火災による死者数は、全国で約1,400人で、うち7割は住宅火災で亡くなっています。要因は、逃げ遅れが最も多く、全体の約半数を占めています。



問合せ先＝消防本部予防課（☎63-7826）

近年の消防庁の調査によると、住宅用火災警報器が設置されている場合は、ない場合と比べて、死者数・焼損床面積ともに半減しており、同警報器の高い効果が証明されています。

■点検は年2回・10年で交換

すでに設置している場合でも、安心はできません。劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、年2回の点検を行ってください。

また、同警報器に記載の「製造年」などを確認し、10年で交換してください。

■チャレンジエコアクション

▼無駄なアイドリングはしない
▼不要な荷物は降ろす
▼ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ
▼車間距離にゆとりを持つ
▼車を買い替える時は、環境性能の高い車を選ぶ
▼移動は徒歩や自転車・公共交通機関を利用する
1つひとつは小さなことですが、世界中のドライバーが取り組めば環境への負荷や交通事故が減り、私たちの幸せにつながります。

問合せ先＝環境課（☎64-1366）

危険業務従事者叙勲

■瑞宝双光章

▼小森潔さん（元大阪府警部・警察功労、大住）
▼中西守さん（元京都府警部・警察功労、東）

■瑞宝単光章

▼大村孝廣さん（元大阪府守口市門真市消防組合消防司令長・消防功労、同志社山手）
▼柴田克行さん（元京都府久御山町消防司令補・消防功労、薪）

▼武末輝夫さん（元准陸尉・防衛功労、興戸）

▼津曲日出男さん（元交野市消防司令・消防功労、同志社山手）

▼南慎一さん（元大阪府枚方寝屋川消防組合消防司令・消防功労、大住）

問合せ先＝秘書広報課（☎64-1322）

ちょっと待った！その契約

実録 消費生活相談の現場より

子どものネットトラブル、高額課金にご用心！



▼子どもが保護者に無断で課金するがないように、クレジットカードやキャリア決済（※2）の暗証番号はしっかりと管理しましょう。

▼課金時に決済完了メールが届く設定にしておきましょう。保護者が早期に気が付けば、高額な課金を防ぐことができます。

▼ペアレンタルコントロール（※3）やフィルタリングの機能を活用しましょう。

▼分からることや不安なことがあれば、相談してください。

（※1）コンテンツの閲覧者が、配信者にオンライン上で金銭の寄付を行うこと。

（※2）スマートフォンなどの通信料金と合算して、通信会社に商品代金を支払うサービス

（※3）保護者が子どもの端末の利用時間や課金などを制限する機能。設定方法は端末によって異なります。



締役で大阪府教育委員会ネット対応アドバイザーの篠原嘉一さん

定員＝先着60人

申込方法＝専用フォーム（＝2次元コード）か、電話・電子メールで、「消費生活講座受講希望」・氏名・年齢・電話番号・市内か市外在住の別・子どもが同伴する場合は、子どもの名前・託児（1歳～未就学児）の有無を連絡してください。託児を希望する人は、11月8日㈬までに申し込んでください。



消費生活講座

【子どもにスマホを与える前に、知っておきたいネットのリスク!!】

金銭感覚がまだ養われていない子どもによるゲーム課金や、SNSがきっかけのトラブルが増えています。子どもにスマートフォンを触らせる前に、保護者がインターネット利用のリスクを知っておくことは大切です。子どもと一緒に参加できます。

日時＝11月18日㈯午後2時～3時30分

場所＝社会福祉センター

対象＝府内に在住・通勤・通学する人

講師＝NIT情報技術推進ネットワーク株代表取

【申込・相談・問合せ先】
消費生活センター（産業振興課内、☎63-1240（正午～午後1時を除く平日午前9時～午後4時）、
✉shohi@city.kyotanabe.lg.jp）

わくわく体験クラブ

△竜王こどもの王国で遊ぼう

①第22回自然素材のつるでクリスマスリースを作りしよう



日時=11月26日(日)午前9時30分~11時30分

対象=市内に在住・通学する小学生~19歳の人

内容=自然のつるを使ってクリスマスリースを作ろう。

定員=先着10人

費用=300円

②第23回松ぼっくりで動物のクマを作ろう

日時=12月2日(土)午前9時30分~11時30分

対象=市内に在住・通学する小学生~19歳の人

内容=自然の木の実で動物を作ろう。

定員=先着10人

費用=300円

③第24回お正月のしめ縄を作ろう

日時=12月23日(土)午前9時30分~11時30分

対象=市内に在住・通学する小学生~19歳の子どもと保護者など(2人1組)

内容=親子でしめ縄を作り、日本古来の伝統や意味などを学ぼう。

定員=先着10組

費用=1組700円

【場所】

野外活動センター

【申込方法】

①は11月9日(木)②は11月13日(月)③は12月4日(月)の午前9時以降に電話・FAX・電子メールで、「第○回参加希望」・住所・氏名(ふりがな)・学年・年齢・電話番号を連絡してください。

【申込・問合せ先】

野外活動センター(☎・FAX62-2816(水曜日を除く午前9時~午後5時)、✉ryuoh@city.kyotanabe.lg.jp)

楽しく歩いて「健幸」に NEW

テクテクたなウォーク

市は「水辺の散策路」を巡る「テクテクたなウォーク」を開きます。同散策路を巡り、専用のアプリを使ってコース上にあるスタンプを4個以上集めると、抽選で「京田辺ブランド一休品」が当たります。

アプリを使わなくても参加できます。豊かな自然の中で秋の深まりを感じながら、健幸(けんこう)づくりに取り組みませんか。

期間=12月31日(日)まで

対象=本市に住民登録がある人

コース=▼市民まつり用コース(京田辺公園の池を周回します。約1.1km) ▼虚空蔵谷川・桜並木ルート

京田辺市×京都府立大学

植物博士になろう ドングリの科学と遊び

日時=11月18日(土)午前9時30分~正午(雨天中止)

場所=野外活動センター

対象=市内に在住する年長児~小学校4年生と保護者

講師=府立大学生命環境科学研究科准教授の武田征士さん

内容=自然について探究・発見を促すプログラムです。

生育する植物・昆虫を採取し、顕微鏡で観察するほか、

ドングリのクラフト作りを楽しめます。

持ち物=虫除けスプレー・虫刺され用の薬・飲み物・タ

オル・ポケットティッシュ

長袖・長ズボン・歩きやすい靴・帽子・靴下を着用してください。

定員=10組。多数の場合は抽選します。

費用=子ども1人につき300円

申込方法=市ホームページの専用フォームから申し込んでください。

しめきり=11月9日(木)

問合せ先=市民参画課(☎64-1314)

親子でドングリ拾いと壁飾りをつくろう

日=12月3日(日)

集合時間・場所=午前9時30分・中央公民館(正午ごろ解散)

対象=市内に在住する3歳以上の子どもと保護者

内容=田辺公園でさまざまな種類のドングリを拾い、名前や特徴を調べて壁飾りにします(雨天の場合は、壁飾り作りやドングリごまなどのおもちゃ作り)。軍手・ぞうきんを持参してください。

定員=先着15人

申込方法=11月14日(火)午前10時以降に、電話で申し込んでください。

申込・問合せ先=きょうたなべ環境市民パートナーシップ事務局(環境課内、☎64-1366)



サンタが街にやってくる

預かったプレゼントを自宅にお届け

保護者から預かったプレゼントを、サンタクロースの衣装を着たスタッフが自宅に届けます。

日時=12月24日(日)午後5時ごろから

対象=未就学児

定員=20組。多数の場合は抽選します。

費用=1人500円

申込方法=往復はがきの往信用に、「サンタ希望」・住所・氏名・電話番号・子どもの名前と年齢・自宅周辺の略地図と目印・訪問希望時間帯を、返信用に住所・氏名を書いて郵送してください。

プレゼントは食品・生き物・壊れやすいものを除きます。包装などは申込者が行ってください。プレゼントの事前持ち込みについては、別途連絡します。

しめきり=12月1日(金)(必着)

申込・問合せ先=▼青年団(中央公民館内、〒610-0331京田辺市田辺丸山214、☎62-2552)▼田原(☎090-3263-4152)



問合せ先=宇治茶・山城ごちそうフェスタ実行委員会事務局(京都府山城広域振興局企画・連携推進課内、☎21-2049)

押し花でカレンダー作り

日時=12月9日(土)午後1時30分~3時

場所=中央公民館

定員=先着20人

費用=700円

申込方法=11月15日(水)以降に、電話で申し込んでください。

しめきり=11月30日(木)正午

申込・問合せ先=京田辺ネットワークの会がやき(中央公民館内、☎62-2552(火~土曜日午前9時~正午。祝日を除く))

みんなで仲良くウェルカムパーティ

日時=12月10日(日)午後2時~4時30分

場所=社会福祉センター

対象=市内に在住・通勤・通学する国際交流に関心のある人や外国人

内容=海外から来日した外国人を歓迎し、台湾茶の淹れ方・和楽器演奏・講習を通じて交流します。

定員=先着30人

費用=500円。外国人は無料です。

申込方法=電話で申し込んでください。

申込・問合せ先=京田辺国際交流協会・次田(☎63-6394)

子どもの主張大会

小・中学生が日ごろ感じていることや、将来の夢などを発表する「子どもの主張大会」を開きます。

各学校の代表12人が発表します。

子どもたちの熱い思いに耳を傾けてみませんか。最新情報は、市ホームページで確認するか、電話で問い合わせてください。

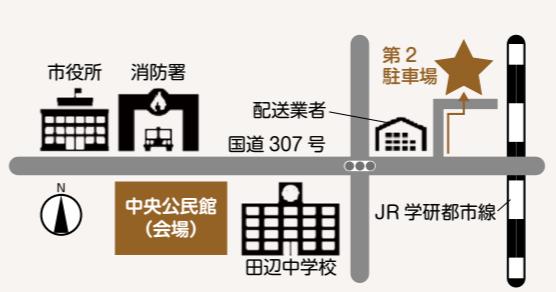
日=12月26日(日)

時間=午後2時30分~4時30分ごろ

場所=中央公民館

車で来場する場合は、同館駐車場か第2駐車場(=下図)を利用してください。

テーマなど=右表のとおり。スクリーンを使った要



約筆記があります(申込不要)。手話通訳を希望する人は、11月17日(金)までにFAXか電子メールで、「子どもの主張大会 手話通訳希望」・氏名・FAX番号かメールアドレスを連絡してください。

学校名	学年	テーマ
大住小	6年生	あいさつで世界は広がる
田辺小		常識
草内小		社会に伝えたい人々の頑張り
三山木小		みんな違って当たり前!
普賢寺小		犯罪や非行の無い社会をつくるには
田辺東小		食料問題について
松井ヶ丘小		自分らしく生きよう
薪小		今の私たちが変える地球の未来
桃園小		京田辺市から未来を創る
田辺中	2年生	SNS関係の誹謗中傷によるいじめ
大住中		感性と文化のつながり
培良中		身のまわりの環境

※発表順ではありません。

申込・問合せ先=健康推進課(☎64-1335)



(虚空蔵谷川をたどり諏訪ヶ原公園などを歩きます。約5.0km) ▼普賢寺川・いっぷくコース(2つの駅からスタートでき法泉寺などを

巡るコースです。約3.4km)

参加方法=▼アプリを使う人…専用アプリ(=2次元コード)をダウンロードしてください。アプリ内から12月31日(日)まで賞品の申し込みができます。

▼アプリを使わない人…12月20日(火)までに電話で連絡してください。順次参加証を郵送します。賞品の申し込みは、令和6年1月12日(金)までに用紙を窓口に提出してください。

期間=12月31日(日)まで

対象=本市に住民登録がある人

コース=▼市民まつり用コース(京田辺公園の池を周回します。約1.1km) ▼虚空蔵谷川・桜並木ルート

フラワーアレンジメント教室

日時=12月16日(土)午後1時30分~3時

場所=南山こどもセンター

対象=小・中学生、高校生

テーマ=クリスマス

定員=10人。多数の場合は初めての人を優先し、抽選します。

申込方法=専用フォーム(=2次元コード)か、往復はがきの往信用に、「フラワーアレンジメント教室」・氏名(ふりがな)・学年・電話番号・小学校区を、返信用に住所・氏名を書いて申し込みください。はがき1枚につき1人のみ

しめきり=11月15日(火)(必着)

申込・問合せ先=南山こどもセンター(〒610-0313京田辺市三山木谷垣内3-1、☎62-4458)



京田辺ふれあいハイキング

■第26代繼体天皇 謎の筒城宮跡ウォーク

~約1500年前 京田辺は日本の首都だった!?~

日=12月1日(金)

集合時間・場所=午前9時15分・JR三山木駅(午後0時45分ごろ解散)

コース=大神宮跡→飯岡古墳群→穴山梅雪墓→山本駅跡碑→三山木駅前広場→山崎古墳群→越前→都谷→筒城宮跡碑(同志社大学京田辺キャンパス内)→JR同志社前駅(約7km)

飲み物・雨具を持参してください。

しめきり=11月30日(木)正午

■京田辺から精華町への歴史の道を辿る

~陶芸家河合寛次郎は何を見つめていたのだろうか~

日=12月14日(木)(前日正午の天気予報で府南部の降水確率が50%以上の場合は中止)

集合時間・場所=午前9時15分・JR三山木駅(午後2時

30分ごろ解散)

コース=佐牙神社→白山神社→春日神社→むくのきセンター→祝園神社→武埴安彦破斬旧跡→華広場→来迎寺→釣迦の池→稻植神社→蓮台寺→精華町役場→JR祝園駅(京田辺市・精華町。約15km)

飲み物・昼食・雨具を持参してください。

しめきり=12月13日(水)正午

【定員】

各回先着60人

【費用】

各回500円(保険料・資料代など)

【申込方法】

観光ボランティアガイド協会ホームページ(=2次元コード)の申込フォームか、電話・電子メールで、希望日・住所・氏名・電話番号・参加人数を連絡してください。

【申込・問合せ先】

観光ボランティアガイド協会(観光案内所☎68-2801
(月曜日を除く)、駅ナカ案内所☎68-2810、✉guide@kankou-kyotanabe.jp)

史跡探訪

日=12月10日(日)(小雨決行)

集合時間・場所=午前9時・JR大住駅(午後3時解散)

コース=大住城跡脇小径→天津神社→大住車塚・南塚古墳→御靈神社(大嘗会田)→月読神社→北部住民センター(昼食)→諏訪ヶ原公園→JR松井山手駅(約6km)

飲み物・雨具などを持参してください。

費用=1,500円

申込方法=専用フォーム(=2次元コード)

から申し込んでください。

しめきり=11月30日(木)

問合せ先=文化協会(中央公民館内、☎29-9118(火~土曜日午前9時~正午。祝日を除く))

演劇まつり
やましろのくに2023

日=11月23日(祝)

時間=午後0時30分~4時10分

場所=北部住民センター

内容=プロの劇団などによる上演・人形作り体験

出演=劇団なんじゃもんじゃ・人形劇ユニットぶくぶく・人形劇団ひとやすみんなど

定員=先着120人。人形作りは先着28人

費用=大人1,000円。年少児~高校生は500円

人形作り体験は別途材料費(250円)が必要です。

申込方法=11月6日(月)以降に、電子メールで、氏名・子どもの学年・人形作りを希望する人は「人形作り希望」を連絡してください。

申込・問合せ先=やましろのくに実行委員会・太田(☎68-2214、✉pukupuku.ohta@gmail.com)

あなたにあった仕事を見つけませんか
女性の就職・チャレンジ相談

日=12月15日(金)

時間=午前10時30分から午後1時から午後2時30分から(いずれも1時間15分)

場所=女性交流支援ルーム

対象=市内に在住・通勤・通学する女性。年齢制限はありません。

内容=若年者等就労支援拠点サザン京都の女性キャリアカウンセラーなどによる、職業選択に役立つ「適職診断」か「性格診断」と個別相談

定員=各回先着2人

申込方法=11月8日(火)以降に電話で申し込んでください。託児(生後6カ月~未就学児。先着2人)を希望する場合は、12月8日(金)までに連絡してください。



申込・問合せ先=女性交流支援ルーム(☎65-3709(平日午前10時~午後6時))

これからの市立小中学校を語る
地域別懇談会の傍聴

市学校教育審議会では、市立小・中学校間の児童生徒数の偏在問題について、中学校区ごとに区・自治会やPTAの代表者などから意見を聞く懇談会を開きます。関心がある人は傍聴してみませんか。

日=①大住中学校区…11月18日(土)・松井ヶ丘小学校②田辺中学校区…11月26日(日)・コミュニティホール③培良中学校区…12月3日(日)・田辺東小学校
時間=午後1時30分~3時30分ごろ(開場は午後1時から)

①③は上靴を持参してください。また、駐車場には限りがあります。

申し込み=不要。席に限りがありますので、立ち見となる場合があります。手話通訳・要約筆記を希望する場合は、各回開催日の10日前までに申し込んでください。

申込・問合せ先=教育総務室(☎64-1391、FAX64-1390)

古文書を読む会

日=11月11日(土)午前10時~正午

場所=中央公民館

講師=精華町教育委員会の中川博勝さん

費用=300円(資料代)

問合せ先=郷土史会・土居(☎・FAX63-5473)



女性に対する暴力をなくす運動

11月12~25日、全国一斉に「女性に対する暴力をなくす運動」が行われます。

暴力は、決して許されるものではありません。特に、配偶者などからの暴力、性犯罪、性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメントなどの女性に対する暴力は、女性の人权を著しく侵害します。

市と田辺警察署は期間中、さまざまな啓発活動を行います。

■街頭啓発

日=11月13日(月)午後6時から

場所=近鉄新田辺駅周辺

内容=啓発ちらし・啓発物品の配布

■講演会

日=11月20日(月)午後2時30分~4時

場所=コミュニティホール
テーマ=パートナーの言葉や態度に傷ついたことはありませんか?~心地よい関係をめざして~

講師=女性と子どものエンパワーメント関西事務局長の井山里美さん(写真)

定員=先着30人

申込方法=11月8日(火)以降に、電話で申し込んでください。託児(生後6カ月~未就学児。先着3人)を希望する場合は、11月10日(金)までに連絡してください。

■パネル展

期間=11月13日(月)~24日(金)(土・日曜日、祝日を除く)

場所=市役所2階市民ロビー・女性交流支援ルーム

内容=パープルリボンツリー、夫婦・恋人間の暴力などについて

みんな
男女いきいき・さんかくセミナー(全2回)

参加者募集

市は、性別に関わりなく、誰もが個性と能力を発揮していきいきと輝くことができる社会を目指し、「男女いきいき・さんかくセミナー(後期)」を開きます。夏に開いた講座と同じ内容のため、前回受講した人は申し込みできません。

日=12月9日(土)

時間=午前10時~11時30分

場所=中央公民館

対象=市内に在住・通勤・通学する18歳以上で、すべての回に参加できる人

日=ち	テーマ	講師
12月9日(土)	アサーティブ・コミュニケーション ~自分も相手も大切にした伝え方を学ぼう~	アサーティブジャパン 尾崎貴子さん
12月16日(土)	アンコンシャス・バイアス ~女性と男性の会話はなぜずれ違うのか~	SEAN 理事長 小川真知子さん

申込・問合せ先=人権啓発推進課(〒610-0393(住所不要)、☎64-1336、FAX64-1305)

きららん音楽祭 生の音楽を楽しもう

日時=11月18日(土)午後2時~4時ごろ

場所=中央公民館

内容=▼市内の小・中学生の演奏・歌・ダンスパフォーマンス▼プロの演奏

定員=先着200人

費用=大人1,000円・子ども500円(膝上で観覧する場合は無料)



申込方法=京田辺音楽家協会ホームページ(=2次元コード)か電話で申し込んでください。

しめきり=11月17日(金)

申込・問合せ先=京田辺音楽家協会(☎66-5450)

同志社女子大学 音楽学科 定期演奏会

日時=12月6日(水)

時間=午後5時30分から(開場は午後4時30分から)

場所=京都コンサートホール(京都市左京区)

内容・演目=▼合唱(なかにしあかね「ケルトの祈り」など)▼ウインドオーケストラ(L.アンダーソン「クリ



冬休み留守家庭児童会 入会希望を受け付け

教育委員会は、冬休み期間中に留守家庭児童会へ入会を希望する児童の申し込みを受け付けます。

対象=市立小学校に通学し、保護者が仕事などで保育できない児童

現在、留守家庭児童会に在籍中の児童は、申し込む必要はありません。

募集する留守家庭児童会=大住・田辺東

多数の場合は低学年を優先し、抽選します。校区外の場合は利用期間・費用が異なるため、詳しくは問い合わせてください。

利用期間=12月20日(水)~令和6年1月10日(水)

(日曜日・祝日・12月29日金~令和6年1月3日水を除く)

申込・問合せ先=社会教育課(☎64-1394)

スマスフェスティバル」など)▼管弦楽(I.ストラヴィンスキー「火の鳥(1919年版)」など)未就学児は入場できません。

問合せ先=同志社女子大学学芸学部・文学研究科事務室(音楽学科)(☎65-8501)

第7回バンドフェスティバル 参加者募集

令和6年2月4日(日)に田辺中央体育館で行われるバンドフェスティバルの参加者を募集します。

内容=吹奏楽・プラスバンド・アンサンブル

費用=一般団体3,000円(京田辺音楽連盟準会員費)

別途、大人1人につき1,000円(学生は500円)が必要です。

申込方法=京田辺音楽連盟ホームページ(=2次元コード)の専用フォームから申し込んでください。

しめきり=11月25日(土)

問合せ先=▼京田辺音楽連盟・山際(☎090-3034-1558)▼文化協会(中央公民館内、☎29-9118(火~土曜日午前9時~正午。祝日を除く))



けいはんなプラザ・ピチコンサート

■in木津川市
~ヴァイオリンデュオとフルートデュオ~

日時=11月12日(日)

時間=午後1時30分~3時5分ごろ

場所=関西光量子科学研究所(木津川市)

内容・曲目=ヴァイオリンデュオ(トルコ行進曲・パッサカリアなど)、フルートデュオ(カノン風ソナタ・きらきら星変奏曲など)

定員=先着100人(自由席)

■inけいはんな記念公園

~弦楽四重奏コンサートクリスマスに向けて~

日時=12月16日(土)

時間=▼午後1時20分~2時▼午後2時30分~3時10分

場所=けいはんな記念公園(精華町)

車で来園する場合は、同公園の有料駐車場(普通車400円)を利用してください。

内容・曲目=弦楽四重奏(愛の挨拶さつ>・そりすべりなど)

定員=各回先着70人

【問合せ先】

けいはんな学研都市活性化促進協議会(☎95-5034)



関西館見学デー

日時=11月19日(日)午前10時~午後4時(せいか祭りと同時開催)

場所=国立国会図書館関西館(精華町)

内容=▼書庫ツア(要申込)▼クイズラリ

ー▼世界の絵本を読めるコーナーなど

申込方法=専用フォーム(=2次元コード)から申し込んでください。

しめきり=11月6日(月)

問合せ先=国立国会図書館関西館総務課(☎98-1224)

内容=サッカー経験豊富なコーチと現役選手から教わります。未経験者でも楽しく参加できます。

定員=先着70人

申込方法=専用フォーム(=2次元コード)から申し込んでください。

しめきり=12月5日(火)

問合せ先=(-社)Reve(レーヴ)(☎27-2512、reve@904n.co.jp)

救命講習

■普通救命講習

日時・場所=▼11月25日(土)…消防署▼12月5日(火)…消防署北部分署

時間=午前9時~正午

対象=市内に在住・通勤する人

内容=AEDを用いた心肺蘇生の講習。一定レベル以上の技術を習得した人には修了証を交付します。

■上級救命講習

日時=12月3日(日)午前9時~午後5時

場所=消防署

対象=市内に在住・通勤する普通救命講習の修了者

内容=成人・小児・乳児に対する心肺蘇生、AEDの使用法、傷病者の管理法、外傷の手当要領、搬送法など

【定員】

各回先着10人

【申込方法】

前日までに、電話か来署して申し込んでください。

【申込・問合せ先】

▼消防署(☎63-1125)▼消防署北部分署(☎65-0119)

京都府洛南浄化センター 下水道処理施設の公開

日時=11月5日(日)午前10時~午後3時30分

場所=府洛南浄化センター(八幡市)

内容=施設の見学・クイズラリー・微生物の観察・府営水道水のペットボトル水の無料配布など

問合せ先=京都府洛南浄化センター(☎075-632-1433)



わくわくサッカー教室

日時=12月16日(土)午後2時~3時

場所=田辺中央体育館

対象=3~15歳。保護者の同伴可(未就学児は必須)

ソリデール相談会 高齢者と若者が同居

高齢者が若者に自宅の一室を低家賃で提供する代わりに、若者は同居しながら高齢者の心の支えとなるソリデール事業。市が進める同事業に興味のある人は、相談会に参加してください。

日時=11月30日(木)午後2時~4時(1人30分程度)

場所=市役所3階305会議室

内容=マッチング事業者の京都高齢者生活協同組合くらしコープがソリデールに関する疑問や相談に応じます。

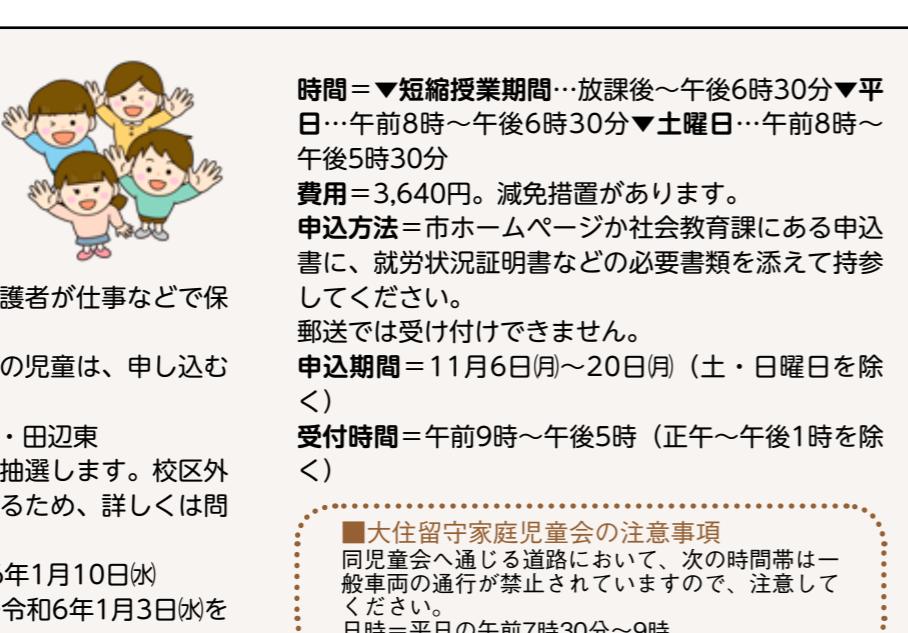
定員=先着4人

申込方法=電話か電子メールで、氏名・年齢・電話番号を連絡してください。定員に空きがある場合は、当日も相談を受け付けます。

■「下宿」との違い

交流会・個別面談などで互いを確認してから同居を始めることができます。

同居後もマッチング事業者がしっかりとサポートするので、安心して生活できます。



時間=▼短縮授業期間…放課後~午後6時30分▼平日…午前8時~午後6時30分▼土曜日…午前8時~午後5時30分

費用=3,640円。減免措置があります。

申込方法=市ホームページか社会教育課にある申込書に、就労状況証明書などの必要書類を添えて持参してください。

郵送では受け付けできません。

申込期間=11月6日(月)~20日(月)(土・日曜日を除く)

受付時間=午前9時~午後5時(正午~午後1時を除く)

■大住留守家庭児童会の注意事項
同児童会へ通じる道路において、次の時間帯は一般車両の通行が禁止されていますので、注意してください。
日時=平日の午前7時30分~9時

申込・問合せ先=社会教育課(☎64-1394)

認知症カフェ



◎認知症コミュニケーションカフェ

■え~ると待ち合わせ♪

日時=11月16日(木)午後1時30分~3時30分
場所=アル・プラザ京田辺3階休憩スペース
内容=脳活性化ゲーム・ミニ講話・小物作りなどを通じて、認知症への理解を深めるほか、趣味などのフリートークで交流します。認知症についての疑問や相談にも応じます。時間は前後する場合があります。

問合せ先=地域包括支援センターあんあん常磐苑(☎68-1310)

発達障がいについて学ぶ 障がい者福祉講演会

日時=12月9日(土)午後2時~4時
場所=社会福祉センター
対象=市内に在住・通勤・通学する人
テーマ=発達障がいって何だろう?~当事者・保護者からのメッセージ~
講師=スクールソーシャルワーカーで障がい者就業支援アドバイザーの笹森理絵さん(=写真)
内容=発達障がいの当事者であり、発達障がいのある3人の子どもを育てながら、全国各地での講演活動や著書出版など、幅広く活躍する笹森さん。自身の経験や我が子の育児を生かして、発達障がいに

申込・問合せ先=障がい福祉課(☎64-1372、FAX63-5777)

【広告】内容や広告主については市が推奨するものではありません。広告の申し込みは秘書広報課(☎64-1320)まで

◎ありがとうカフェ・ガーデン

■ありがとうカフェ(認知症カフェ)

認知症の人・介護する家族・認知症について学びたい人などが気軽に集えるカフェです。
日時=11月15日(水)・26日(日)午前10時~正午
毎月第3水曜日・第4日曜日にオープンしています。

■ありがとうガーデン

1年を通じて、庭で野菜作りや収穫物を味わうことができます。認知症などに関する相談もできます。

日時=毎週火曜日の午前10時~午後4時

【場所】

もどり場だんだん みんなのおうち(三山木直田23-2)

【メニュー】

▼コーヒー(お茶)・お菓子・おにぎりのセット…300円▼ランチ…500円
ランチは前日正午までに電話で予約してください。

【予約・問合せ先】

そよかぜ子育てサポート(☎62-9672、☎070-3243-6442)



消費税インボイス制度

消費税インボイス制度の相談会・説明会を宇治税務署で開きます。駐車場に限りがあるため、公共交通機関で来署してください。

■登録要否相談会

登録の要否を悩んでいる人は参加してください。

期間=12月28日(木)まで(土・日曜日、祝日を除く)

時間=①個人事業者向け…▼午前10時から▼午前11時から▼午後1時から②法人向け…▼午前10時から▼午後2時から(いずれも1時間程度)

申込方法=前日の午後5時までに電話で申し込んでください。

申込・問合せ先=宇治税務署(☎44-4424(①)、☎44-4452(②))。平日のみ)

■説明会

日付=11月16日(木)・12月11日(月)

時間=▼午後10時から▼午後2時から(いずれも45分間)

定員=各回先着20人

申込方法=前日の午後5時までに電話で申し込んでください。

申込・問合せ先=宇治税務署(☎44-4452)。平日のみ)

綾喜都市計画区域区分 見直し案説明会

日時=11月22日(水)午後7時から
場所=中央公民館

内容=都市計画区域区分の変更(市街化区域への編入)などの都市計画決定・変更について
問合せ先=計画交通課(☎63-1219)

枚方京田辺環境施設組合議会

定例会の傍聴

日付=11月16日(木)

時間=午後2時から(受け付けは午後1時30分から)

場所=枚方市東部清掃工場

定員=先着20人

内容=令和4年度一般会計決算認定など

問合せ先=枚方京田辺環境施設組合(☎072-896-1570)

教育振興基本計画案へ意見を パブリックコメント

教育委員会は、市と一層連携し、中長期にわたる教育関係施策を総合的・計画的に推進していくため、「市教育振興基本計画」の策定を進めています。このたび、同計画の素案がまとまりましたので、皆さんからの意見を募集します。

対象=▼市内に在住・通勤・通学する人▼市内に事務所などを有する個人・法人・団体

資料閲覧場所=市ホームページ、教育総務室、中央公民館、北部・中部住民センター、南部まちづくりセンター

提出方法=資料閲覧場所にある募集用紙に住所・氏名・意見を書いて、持参・郵送・電子メールで提出してください。

募集期間=11月23日(祝)~12月22日(金)(必着)

提出・問合せ先=教育総務室(☎64-1391)

都市計画に関する公聴会で

意見陳述を希望する人は申出書の提出を

対象=多々羅地区(同志社大学多々羅キャンパス跡地)における都市計画の変更案作成のための公聴会で意見陳述を希望する人



定員=先着50人
申込方法=専用フォーム(=2次元コード)か、電話・FAXで、氏名、住所か所属する団体名、電話番号、手話通訳・託児(生後6ヶ月~未就学児。先着5人)希望の有無を連絡してください。

しめきり=11月28日(火)

市史編さんリレー講座(全3回)

受講者募集

市の歴史や、現在取り組んでいる市史編さん事業の成果を、大学教員らが分かりやすく紹介します。私たちが住むまちの歴史について考えてみませんか。

日付・内容=右表のとおり

時間=午後2時~3時

場所=中央公民館

対象=市内に在住・通勤・通学する18歳以上の人(高校生を除く)

定員=40人。多数の場合は、昨年度受講していない人を優先し、抽選します。

申込方法=往復はがきの往信用に、「リレー講座受講希望」・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電

話番号を、返信用に住所・氏名を書いて郵送してください。

しめきり=12月22日(金)(必着)

日付(令和6年)	テーマ・講師
1月24日(水)	京田辺市の室町時代 市史編さん室職員
2月21日(水)	京田辺市の民俗 京都産業大学教授の村上忠喜さん
3月13日(水)	京田辺市の石造物 ~信仰の石を中心にして~ 市史編さん委員の林正さん

申込・問合せ先=市史編さん室(〒610-0331京田辺市田辺丸山214、☎64-1301)

市物価高騰低所得者世帯支援給付金 申請はお済みですか？

対象=6月1日現在、本市に住民登録がある令和5年度住民税均等割非課税世帯

給付額=1世帯につき3万円

申請方法=対象世帯に送付している確認書を提出してください。届いていない世帯は問い合わせてください。

申請期限=12月27日(水)(必着)

問合せ先=市物価高騰低所得者世帯支援給付金センター(☎0120-45-0005(平日午前9時～午後5時))

認知症家族交流会

認知症の介護の悩みを相談したい、話を聞いてほしいと思ったことはありませんか。介護する人同士で不安や悩みを語り合い、認知症への理解を深めましょう。

日時=11月7日(火)午後2時～3時

場所=南部まちづくりセンター

対象=認知症の人を介護する家族など

定員=先着15人

申込方法=電話で申し込んでください。

申込・問合せ先=地域包括支援センターあんあん市役所(☎63-1268)

高齢・認知症の人への対応力を向上

京都高齢者あんしんサポート企業養成研修

「京都高齢者あんしんサポート企業」とは、通常業務の中で、高齢者の見守りや認知症の人に寄り添った高齢者にやさしい企業・店舗のことです。接し方や対応ポイントを学ぶ研修を開きます。

日時=12月6日(水)午後2時～4時20分

場所=コミュニティホール

対象=府内の事業所

内容=認知症サポートー養成講座、高齢者や認知症の人

への傾聴・接遇。受講後、京都高齢者あんしんサポート企業であることを示すステッカーなどを配布します。
申込方法=電話かFAXで申し込んでください。
申込・問合せ先=京都地域包括ケア推進機構・京都高齢者あんしんサポート企業事務局(☎075-803-1037、FAX075-822-3574)

ひだまりの会

日時=11月21日(火)午後1時30分～2時30分

場所=北部住民センター

対象=市内に在住する高齢者

内容=季節の歌とリコーダー演奏を楽しめます。

定員=先着15人

申込方法=電話かFAXで申し込んでください。

しめきり=11月16日(木)

申込・問合せ先=社会福祉協議会(☎68-5005、FAX65-3883)

介護者のリフレッシュ日帰りバス旅行

日=11月27日(月)

集合時間・場所=▼午前8時35分・三山木駅前広場▼午前8時50分・社会福祉センター▼午前9時・JR大住駅前(午後3時30分ごろ解散)

対象=市内に在住し、在宅で家族などの介護をしている人

行き先=神戸布引ハーブ園とロープウェイ

定員=先着20人

費用=2,000円(別途、昼食代の一部が必要)

申込方法=電話かFAXで申し込んでください。

しめきり=11月15日(水)

申込・問合せ先=社会福祉協議会(☎68-5005、FAX65-3883)

ます。不要な本があれば、回収に協力をお願いします。

対象=▼ISBNコード(=写真④)がある平成23年(2011年)以降に出版された本▼規格品番のあるCD・DVD・ゲームソフト

■次のものは回収できません
同一タイトル11点以上・シンガルCD・投票券などの特典付きCD・ディスクにひどい傷がある・ケースなどが欠品している

回収場所=人権啓発推進課・中央公民館・三山木福祉会館



回収ボックス

問合せ先=人権啓発推進課(☎64-1336)

犯罪被害者への支援の輪を広げよう ～支えあい 勇気を出して 私から～

11月25日～12月1日は犯罪被害者週間です。自分や大切な人が犯罪被害に遭うことを想像したことがありますか。一人ひとりが少しの勇気を出して、傷ついた人に寄り添い、地域・社会に助け合いの絆を広げていきましょう。

問合せ先=▼人権啓発推進課(☎64-1336)▼田辺警察署(☎63-0110)

△不要になった本の寄贈を/ ホンデリングプロジェクト

市は、皆さんから寄贈された本の売却代金を、犯罪被害者への支援に役立てる「ホンデリングプロジェクト」に取り組んでいます。今年は、10月1日までに175冊を回収し、1,861円を寄付しました。あなたの一冊が、犯罪被害に苦しむ人への手助けになり

共生を考える集い・講演会

教育委員会・就学相談委員会は、障がいに対する正しい理解と認識を深め、共に生きる社会の実現を目指すため講演会を開きます。

日時=11月22日(水)午前10時～11時30分

場所=社会福祉センター

テーマ=共生社会を目指して～新設・井手やまぶき支援学校から申し上げて～

講師=府立井手やまぶき支援学校長の丸岡恵真さん

定員=100人。多数の場合は抽選します。

申込方法=市ホームページの専用フォームか、FAX・来庁で、住所・氏名・電話番号・FAX番号を連絡してください。

しめきり=11月14日(火)。手話通訳・要約筆記を希望する人は、11月8日(水)までに申し込んでください。

申込・問合せ先=学校教育課(☎64-1392、FAX64-1390)

しめきり=11月20日(月)

申込・問合せ先=視覚障害者協会・内野(☎090-5065-0089(平日午前10時～午後4時))

聞こえにくさを感じている人のための 情報サロン(聞こえの教室)

日時=12月13日(水)午後1時30分～3時30分

場所=社会福祉センター

対象=聞こえにくい・聞こえなくて不便を感じている人と家族

内容=日常生活の工夫・情報交換・簡単な手話学習など。要約筆記があります。

申込方法=電話かFAXで申し込んでください。

しめきり=12月6日(水)

申込・問合せ先=京都府聴覚言語障害センター(☎30-9000、FAX55-7708)

男性のための電話相談

日=12月1日(金)

時間=午後6時～8時(受け付けは午後7時30分まで)

相談電話番号=☎65-3709

内容=職場・仕事での人間関係、ストレス、生き方、家族・夫婦関係、地域の人間関係などの電話相談

相談員の性別は希望に応じます。

相談料=無料。通話料が必要です。

問合せ先=人権啓発推進課(☎65-3709)

ひとり親家庭クリスマス会

日時=12月10日(日)午前10時から

場所=社会福祉センター

対象=中学生までのひとり親家庭の親子

内容=お楽しみ会

費用=1世帯500円。京田辺・さくら会員は無料

申込方法=社会福祉協議会に電話で申し込んでください。

しめきり=12月1日(金)

申込・問合せ先=▼社会福祉協議会(☎62-2222)▼子育て支援課(☎64-1376)

ふれあいのつどい

日時=11月26日(日)午後1時30分～3時30分

場所=中央図書館

対象=市内に在住・通勤・通学する視覚に障がいのある人と家族、関心のある人

内容=▼毎日新聞社「点字毎日」編集長の濱井良文さんによる「点字毎日 100年の歩みをふまえて」の講演▼市立図書館の視覚障がい者サービスの紹介▼視覚障がい者の福祉の紹介

定員=先着30人。空きがある場合は当日参加もできます。

申込方法=電話で申し込んでください。

【広告】内容や広告主については市が推奨するものではありません。広告の申し込みは秘書広報課(☎64-1320)まで

地域とつながる

区・自治会 ホントのトコロ



薪区長の村山 久昭さん

区・自治会では、地域住民のつながりを深め、誰もが安心して暮らせるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。しかし、現在は多くの団体で、役員の高齢化や担い手不足などの課題を抱えています。

より多くの人に区・自治会活動を知ってもらうため、活動を担っている人に話を伺うシリーズを不定期で掲載しています。

No.6 薪区

薪区の特徴は

薪区は1,600戸以上が加入する、市内でもかなり規模の大きな区です。現在も新興住宅地が開発されている影響などで、加入戸数は増加傾向にあります。

区の行事について

新型コロナウイルス感染防止のため、しばらく中止していた行事も多くありますが、今年は4年ぶりに再開します。例年100人以上が参加する「子どもみこし」については、鼓笛隊を先頭に、子どもたちが元気な掛け声とともに地域を巡ります。「運動会」については、より多くの区民に参加してもらえるように、これまでの競技を見直し、ゲーム感覚で気軽に楽しく参加できる種目を新たに設けます。「文化産業祭」については、うどんなどの軽食コーナー・農作物の販売・模擬店・起震車体験・子どもたちの作品展示などを予定しています。

各行事は、時代の流れに合うように一部内容を変更するなどの工夫を行っています。久しぶりに地域

にぎわいが戻ってきて、区民の皆さんには喜んでいただけると思います。

区の加入促進の取り組みについて

住宅地の開発業者の協力のもと、新居を購入された方に区の資料を配布したり、班長が自宅を訪問したりして、加入促進を図っています。

薪区のこれからについて

酬恩庵一休寺を中心に天理山古墳群などの文化資源を生かして、地域のにぎわいづくりに取り組んでいきたいです。

また、住民同士のつながりは、子どもたちから高齢者まで、近所同士の顔が見えるような関係性が理想だと考えています。実際、あるお宅に異変があった時、近所の人がそれに気付いたことで、解決につながった事例がありました。人ととのつながりが育まれ、安心して暮らせる地域をつくっていきたいです。

※インタビュー内容は、9月時点のものです。

問合せ先=市民参画課(☎64-1314)

市公式LINE／便利な機能がたくさん／9,000人以上が登録しています

生活がより便利になる市公式LINEは、現在人口の1割を超える約9,300人が登録しています。まだの人は、この機会にぜひ、「友だち登録」してください。なお、同LINEでは、個人情報の収集は行いません。登録方法=ID検索「@kyotanabe_city」か、2次元コード(=上図)からアクセスしてください。

登録するとメリットいっぱい

▼必要な情報だけを受信…受信を希望するカテゴリーを事前に設定することで、欲しい情報だけを受け取ることができます。▼ごみの収集日を事前にお知らせ…住まいの地域を登録することで、収集日の前日夜か当日朝(選択可)にプッシュで通知が届きます。▼ごみの分別区分を自動で応答…トーク画面に捨てたいごみの品目を入力するだけで、自動でごみの分別区分を応答します。

問合せ先=秘書広報課(☎64-1320)



【広告】

新型コロナワクチン Information

◎全年代を対象に秋冬接種

対象・接種券の送付時期=下表のとおり

申請方法=市ホームページにある申請書を健康推進課に持参するか、新型コロナワクチン接種対策室(〒610-0393(住所不要))に郵送してください。専用フォーム(=2次元コード)からも申請できます。なお、すでに接種券を持っている人は、同券で接種できます。紛失した人などは再発行しますので問い合わせてください。

接種期間=令和6年3月31日(日)まで(接種は1回限り)



	対象 ※初回接種を完了した生後6カ月以上の人	接種券の送付時期
申請が不要	▼春夏接種を受けた高齢者(65歳以上) ▼春夏接種で申請・接種した基礎疾患のある人(5~64歳)	前回の接種から3カ月経過後に、順次、郵送します。
申請が必要	▼医療・介護・高齢者施設従事者 ▼前回の接種後に、本市に転入した人 ▼そのほかの人	前回の接種から3カ月経過後に、申請してください。

◎初回(1・2回目)接種は継続

継続して初回接種を行います。生後6カ月~4歳の人は3回、5歳以上の人には2回の接種が必要ですので、希望する人は接種間隔を考慮して予約してください。

対象=生後6カ月以上で、一度も接種していない人

接種方法=すでに届いている接種券で接種できます。紛失や届いていない場合は、問い合わせてください。

なお、9月以降に生後6カ月を迎えた人は、接種券の申請が必要です。該当する人には翌月に案内を郵送します。

接種期間=令和6年3月31日(日)まで

◎接種は医療機関で

集団接種は終了しましたので、各医療機関で接種してください。接種できる医療機関は、郵送する接種券に同封している案内・コロナワクチンナビ(=2次元コード)で確認するか、新型コロナワクチンコールセンターに問い合わせてください。なお、同コールセンターでは、接種の予約はできません。



◎令和6年度以降の接種の検討を開始

政府は、令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種について検討を始めています。詳しい方針が発表され次第、広報紙などでお知らせします。

なお、現在の接種体制(全年代への公費負担による無料接種)は、令和6年3月31日で終了する予定です。

問合せ先=新型コロナワクチンコールセンター(☎0570-550-307)

※最初の「0」を忘れずに! 間違った電話が多発しています。番号はしっかりと確認してください。

【広告】内容や広告主については市が推奨するものではありません。広告の申し込みは秘書広報課(☎64-1320)まで

市公式LINE／便利な機能がたくさん／9,000人以上が登録しています

生活がより便利になる市公式LINEは、現在人口の1割を超える約9,300人が登録しています。まだの人は、この機会にぜひ、「友だち登録」してください。なお、同LINEでは、個人情報の収集は行いません。

登録方法=ID検索「@kyotanabe_city」か、2次元コード(=上図)からアクセスしてください。

登録するとメリットいっぱい

▼必要な情報だけを受信…受信を希望するカテゴリーを事前に設定することで、欲しい情報だけを受け取ることができます。▼ごみの収集日を事前にお知らせ…住まいの地域を登録することで、収集日の前日夜か当日朝(選択可)にプッシュで通知が届きます。▼ごみの分別区分を自動で応答…トーク画面に捨てたいごみの品目を入力するだけで、自動でごみの分別区分を応答します。

問合せ先=秘書広報課(☎64-1320)

【広告】

27 広報ほっと京たなべ | 令和5(2023)年11月号

広報ほっと京たなべ | 令和5(2023)年11月号 26

ザ・U.S.A アメリカの文化と生活

シリーズ②エチケットPart2

ハロー！CIR（国際交流員）のシャベズ・莉愛（りあ）（25）です。
私の母国アメリカの文化・習慣について毎月連載しています。

ALT（外国語指導助手）の3人でタイ旅行を楽しんできました。今もなお建築中で「アジアのサグラダ・ファミリア」と呼ばれている巨大木造寺院「サンクチュアリー・オブ・トルース」に施された細かい彫刻の数々は圧巻でした（=写真）。



アメリカでは日本と異なるエチケットやマナーがあり、それが無意識のうちに失礼な行為につながることがあります。同様に、日本を訪れるアメリカ人も逆の立場で、同じような誤解を招くことがあります。互いのルールを理解するために、今回はアメリカのエチケットやマナーについて紹介します。

◎運転マナー

アメリカの車社会のマナールールは、基本的に日本と同じですが、アメリカ独自のものや日本よりも厳格なものもあります。例えば、車を駐車場以外の場所に1分でも駐車するとすぐに取り締まられ、都市部では特に厳しいです。違反金が課せられたり、車をレッカーカーで移動させられたりすることもあります。



日本では、道を譲ってもらった時などドライバーに感謝を示すために軽くクラクションを鳴らすことがあります、アメリカではクラクションは、相手に対し不満を示していると受け取られます。近年ではクラクションが原因でトラブルに発展することが増えており、クラクションを控える人が多くなっています。

◎ビジネスでは

日本では考えられませんが、上司に対してファストネーム（名前）で呼ぶことがあります。初対面の上司にはファミリーネーム（苗字）で呼ぶことが一般的ですが、関係性が深まるときファストネームで呼ばれる人を好む人も多く、日本よりカジュアルな環境です。ただ、英語には日本語のような敬語がないので、上司との会話やメールでは正確で丁寧な文法を使います。また、アメリカは名刺の重要性が低く、ほとんど交換することはありません。

ビジネスでは、「時間はお金」という考え方が広まっており、時間を大切にすることが重要です。会議は短く効率的なものが好まれ、意思決定する時もスピードを重視します。また、日本では昼休みなどに仮眠をとる人がいますが、アメリカでは職場で寝ることは好意的に受け取られません。

問合せ先=市民参画課（☎64-1314）

◎タブー

■喫煙

アメリカでは、バス停や公園などの公共の場で喫煙や飲酒は禁止されており、違反すると罰金を課せられます。1960年代に政府が喫煙に反対するキャンペーンを始めたことがきっかけで厳しくなり、レストランや店舗にも喫煙室はありません。日本を訪れた際、施設などに喫煙室があるのを見ると驚くことがあります。

■ジェスチャー

手のひらを下に向けて行う手招きは、日本では「こちらに来てください」という意味ですが、アメリカでは「遠ざかってください」という意味になります。「こちらに来てください」とジェスチャーする場合は、手のひらを上に向けて手招きします。また、中指を立てるジェスチャーは「不敬」「怒り」を表すので、使うべきではありません。

◎日本とのマナーの相違

■食べ歩き

日本では日常での食べ歩きは敬遠されていますが、アメリカではよく見られます。食べ歩きしやすいハンバーガーやホットドッグなどが街中でたくさん売られています。



■電車内の電話

日本では、バスや鉄道などの公共交通機関での電話は避ける傾向にありますが、アメリカでは、特に問題ありません。ニューヨークの地下鉄などでは、車内で曲を演奏するなどのサプライズパフォーマンスが増えており、静かな場所ではないので、大声でなければ電話していてもあまり気になりません。

■ポケットに手を入れる

アメリカではポケットに手を入れることは一般的で、仕事中にポケットに手を入れて上司と会話することもあります。これは相手とのリラックスした関係の表れとされており、失礼にはなりません。



ココ こだわってます

市内のものづくり企業を紹介
さまざまな特色ある製品を生み出す市内のものづくり企業を不定期で紹介します。

No.15 コフロック株式会社（草内）
代表取締役社長 小島 望さん



マスフロー生産ラインのクリーンルーム



流量計の生産現場

コフロック株では、酸素などの気体や水などの液体の流れる量を計測・コントロールする機器のほか、ガスを発生させる装置を製造・販売しています。製品自体は、皆さんの目に触れる機会はありませんが、半導体・分析・食品・化学・医療などさまざまな業界で使われているため、日常の多くの場面で関わりがあります。例えば、赤ちゃんの成長をサポートする保育器に酸素を送る「流量計」、袋入りのポテトチップスのおいしさを保つために窒素ガスを供給する「窒素ガス発生装置」、ドリンクサーバーの中のお茶やジュースの濃度を調整する「流量制御機器」などが挙げられます。

同社は、「流体を科学する」をモットーに、流体の微少流量域を主とした計測・制御技術を探求し、顧客のさまざまな要望に寄り添うことを第一に事業を展開しています。小島さんは、次世代の技術を支え、社会に貢献できるものづくりを懸命に考えながら、日々の業務に取り組んでいます。創業当初から大事にしてきた「温故知新」の企業理念のもと、一緒に働く従業員の皆さんと共に、喜びを感じられる瞬間が1つでも増えるような会社を目指しています。



現場スタッフの声／

「国内外問わず多くのお客様に信頼される製品を提供しています」と話す奥居さん（左）と、「日々学ぶことが多く、自分自身の成長につながり、やりがいを感じています」と話す山崎さん（右）

問合せ先=産業振興課（☎64-1364）

【広告】内容や広告主については市が推奨するものではありません。広告の申し込みは秘書広報課（☎64-1320）まで





記載のないものは、申込不要・無料です。

はぐはぐ子育て支援事業 「ピックアップ情報紙」

広報紙に掲載しきれない
イベントや子育て情報が
満載!
右図の2次元コードから
アクセスできます。



親子ふれあいあそび

日時=12月18日(月)午前10時~11時

場所=大住児童館

対象=0~2歳児(令和2年4月2日~同5年4月1日生)
内容=クリスマスリース作りや、曲に合わせて鈴を鳴らして遊びます。

定員=30人程度。大住・普賢寺児童館の親子教室(後期)に参加していない人を優先します。多数の場合は抽選し、結果は11月下旬にお知らせします。

申込方法=申込フォーム(=2次元コード)か、往復はがきの往信用に「親子ふれあいあそび」・住所・親子の氏名・子どもの生年月日・電話番号・親子教室に参加の有無を、返信用に住所・氏名を書いて申し込んでください。



しめきり=11月14日(火)(当日消印有効)

申込・問合せ先=大住児童館(〒610-0343京田辺市大住内山7、☎68-2225)

はいはいサロン

日時=12月19日(火)午前10時30分~11時30分

場所=中央公民館

対象=生後6ヶ月までの第1子

内容=お母さん同士の交流・情報交換・看護師による育儿相談。バスタオル・おもちゃを持参してください。

定員=先着6組

申込方法=11月22日(水)以降に電子メールかLINEで、親子の氏名・子どもの生年月日・住所(地域)・電話番号・メールアドレスを連絡してください。

申込・問合せ先=子育てママ応援し隊「はいはい」・田中(☎090-2350-5105、✉nice.shokai2017@gmail.com、LINE ID:@085rpuvq)



親子体操

日時=11月15日(水)午前10時~11時15分

場所=中部住民センター

対象=1歳6ヶ月~3歳の未就園児

持ち物=上靴・タオル・飲み物

定員=先着10組程度。空きがあれば当日参加もできます。

申込方法=11月6日(月)以降に、電話・電子メール・SMS(ショートメールサービス)で申し込んでください。

申込・問合せ先=草内民生児童委員協議会・宮嶋(☎SMS080-4829-4553、✉nice.shokai2017@gmail.com)



子育てサロン「ひよこ」

日時=12月6日(水)午前10時~11時30分

場所=中部住民センター

対象=草内・田辺東小学校区に在住する1歳6ヶ月までの子ども
内容=子育て支援ボランティアグループ「えぷろんママ」とクリスマスを楽しみます。

定員=先着10組程度

申込方法=11月13日(月)以降に、電話・電子メール・SMSで申し込んでください。

申込・問合せ先=草内民生児童委員協議会・宮嶋(☎SMS080-4829-4553、✉nice.shokai2017@gmail.com)



子育て世代なんでも相談

不登校・子どもの発達・ゲーム依存など子どもの対応や子育てで困っていること・保護者自身の悩みなどについて、市内の相談支援事業所の相談員が話を伺います。

日ち=12月13日(水)

時間=▼午前9時から▼午前10時から▼午前11時から

場所=はぐはぐルーム松井山手

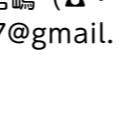
対象=市内に在住する主に17歳までの子どもと保護者

定員=各回先着1組。定員超過で参加できなかった人は、別途相談に応じます。

申込方法=申込フォーム(=2次元コード)から申し込んでください。

申込期間=11月10日(金)~27日(月)

問合せ先=はぐはぐルーム松井山手(☎65-1170)



子育て講演会

日時=11月30日(木)午前10時30分~正午

場所=社会福祉センター

テーマ=見つけよう! あなたらしい子育てを応援~子どもの発達とコミュニケーション~

内容=心の持ち方や子どもとの接し方などを知り、自信を持って子育てをするヒントを学びます。

講師=兵庫県神戸市スクールカウンセラーで同志社女子大学学生相談室相談員の熊澤紅実さん

定員=先着50人程度

申込方法=電話・FAX・電子メールで、「子育て講演会」・氏名・電話番号を連絡してください。

申込・問合せ先=草内民生児童委員協議会・宮嶋(☎SMS080-4829-4553、✉nice.shokai2017@gmail.com)



しめきり=11月27日(月)

申込・問合せ先=社会福祉協議会(☎62-2222、FAX65-4962、✉shakyo-kyotanabe@ceres.ocn.ne.jp)

夫婦がチームになる秘けつを学ぶ講演会

日時=11月11日(土)午前10時~正午

場所=南部まちづくりセンター

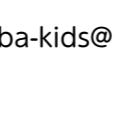
内容=子どもと親が幸せをたくさん感じられる考え方「チームわが家」について、専門家から学びます。

定員=先着20人

費用=大人1,500円、大人2人で2,000円(ペア割)

申込方法=ママ'sコネクトのホームページ(=2次元コード)から申し込んでください。

問合せ先=ママ'sコネクト・西垣(☎080-5337-3564)



ちびっこ音楽広場「リズムキッズ」

日ち=11月21日(火)・12月2日(土)

時間=午前11時10分~11時40分(受け付けは午前11時から)

場所=アル・プラザ京田辺3階休憩スペース

対象=未就学児と保護者

内容=音楽やリズムで遊ぼう。

定員=先着10組

問合せ先=京田辺音楽家協会(✉ongakuhiroba-kids@kyotanabe-musicians.org)

オレンジリボン 児童虐待防止推進キャンペーン

虐待かも…
と思ったら
すぐに電話ください

未来へと命をつなぐ
189(いちはやく)

市・要保護児童対策地域協議会・社会福祉協議会は、地域ぐるみでの子育てを応援し、虐待の未然防止に取り組んでいますが、虐待に関する相談件数は年々増加しています。

本市では昨年度、児童虐待に関する相談が316件、家庭環境や困りごとなどの相談が77件、不登校や育児・しつけなどの相談が61件ありました。

■変だな?と感じたら

親がしつけだと思っていても、子どもの心や体が傷つく行為は虐待です。周囲の親子のSOSを見逃さず、「何か変だな」と感じたら迷わず連絡をお願いします。皆さんからの連絡は、虐待を受けている子どもや、子育てに悩む親への支援の第一歩です。

■一人で悩まないで

家庭児童相談室では、生活習慣・不登校・発達障がいなど、子どもに関するさまざまな相談に応じています。連絡は匿名でも構いません。連絡者や内容に関する秘密は守られます。

相談・連絡先=▼家庭児童相談室(☎64-1309(平日午前8時30分~午後5時15分)、✉oyakosos@city.kyotanabe.lg.jp)▼児童相談所全国共通ダイヤル(☎189(24時間対応))

ファミリー・サポート・センター出張登録会

ファミリー・サポート・センターは、「子育てを援助してほしい人」と「子育てを援助したい人(有償ボランティア)」が、互いに子育てを支え合う会員組織です。同センターの活動に興味がある人は、話を聞くだけの参加もできます。託児を希望する場合は事前に申し込んでください。

日時=11月30日(木)午前9時30分~11時30分

場所=南部まちづくりセンター

持ち物=写真1枚(縦4cm×横3cm。スナップ写真可)

本人確認書類

入会金・登録料=無料

申込・問合せ先=ファミリー・サポート・センター(☎62-1175)



児童相談所
虐待対応ダイヤル
いちはやく

189
近くの児童相談所
につながります。

STOP!児童虐待 市オリジナル動画で啓発

児童虐待防止を訴える「オレンジリボン運動」の市オリジナル啓発動画を公開しています(=下図)。市長のほか、観光大使一休さん・キララちゃんらが登場し、虐待防止を呼び掛けています。ぜひ、ご覧ください。

放映場所=市公式ユーチューブ(=2次元コード)・市役所・社会福祉センターなど



アンケートに答えてもらおう／
読者プレゼント

提供：オートプロデュースウエムラ

レーシングシミュレーター体験（30分）
(3,000円相当)

7名様

▶▶ 市公式LINE・はがきで応募！

車屋さんにレーシングシミュレーターを導入しました！今回は、「レーシングカーで鈴鹿サーキットを走る」「ラリーカーで林道を走る」など、好きな車でゲームよりリアルな運転体験をプレゼント。子どもから大人まで幅広い年齢の人に楽しんでいただけます。ぜひ試乗してみてください♪

同社公式LINE →

オートプロデュースウエムラ
草内一ノ坪27-2、☎64-2258

応募方法＝市公式LINEで配信されるアンケートに回答するか、はがきに次のアンケートの回答・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を書いて秘書広報課に郵送してください。LINEは回答後すぐに抽選できます（1人1通のみ）。LINEでの応募は個人情報を収集しません。

①特集「大学×地域で動く多彩なプロジェクト」の感想
②あつたらいいな、こんな大学との連携
③興味を持った記事と感想
しめきり＝11月10日（金）（必着）
回答者の中から抽選で7名様に、上記のプレゼントが当たります。当選者は、現地で賞品と引き換えてください。ご意見に対する個別回答はできません。

応募・問合せ先＝秘書広報課（〒610-0393〈住所不要〉、☎64-1320）10月号の応募者数は、227人でした。

きょう田辺、
あしたも京田辺。
上村 崇
Kamimura Takashi
市長コラム No.26

今では想像もつきませんが、80年ほど前まで京都市伏見区、宇治市、久御山町にまたがる場所に、巨大な巨椋池（おぐらいけ）がありました。池の周囲が約16km、面積が甲子園球場約200個分に当たる約8km²と、池としては日本最大を誇っていました。同池には北から桂川、南から木津川、東から宇治川が流れ込み、合流して淀川となって大阪湾に流れ込んでいました。この池があることで、大阪と京都を往来

読者の
広場

広報ほっと京たなべ（10月号）に寄せられた読者の皆さんのがお届けします！

■特集「秋彩る3つの伝統行事」の感想

▼市内の伝統行事に興味が湧いた（多数）▼3つとも見に行ってみたい（多数）▼子どもに伝統行事について教える良い機会になった（30歳代）▼京田辺にはすばらしい伝統行事がたくさんあることを知り、まちの魅力を再認識できた（50歳代）▼写真が大きく、きれいで見やすかった。伝統の守り人の紹介では、苦労や現状がよくわかった（50歳代）▼近鉄新田辺駅西側の通りが「隼人の盾」の模様になっていることを初めて知った。子どもが興味を持っていたので、今度通ったときに、教えてあげようと思った（30歳代）

■学校や地域などの運動会の思い出

▼みんなでお弁当を食べた（多数）▼家族が応援に来てくれた（多数）▼徒競走でスタート直後に転んだが、諦めずに走り2位まで追い上げた父の姿に感動した（20歳代）▼高校の体育祭で近くの幼稚園児たちとフオーフダンスを踊った。とてもかわいかった（60歳代）▼組み体操は一人ではできないものなので、みんなで作り上げる達成感が得られた（30歳代）▼地域対抗の綱引きがとても盛り上がった（50歳代）

運動会の思い出について、弁当にまつわるエピソードが多く寄せられました。秋といえば「食欲の秋」「芸術の秋」、そして紅葉がきれいな季節です。10ページでは絵画などの芸術を楽しめる「京田辺市展」や紅葉が美しい大御堂観音寺のライトアップなど、京田辺で秋を感じられるイベントを紹介していますので、ぜひ参加してみてください。

個性キラリ My way
自分流

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を發揮し、活躍している市民を紹介します。



株式会社ヘッズ
デフサッカー男子
日本代表
堀井聰太さん（24）

趣味のバイクやカメラは、仕事やサッカーの練習でも生かせていると話す堀井さん。平日は仕事終わりにサッカーで汗を流すのが日課です。

ー デフサッカーのことを教えてください

デフサッカーとは、聴覚障がい者で行うサッカーであり、競技中は補聴器を外すことが義務付けられていることから、「音のないサッカー」とも呼ばれています。私は生まれた時から聴覚に障がいがあり、補聴器を着けても半分くらいしか聞こえないので、唇の動きで言葉を読み取る読唇（どくしん）術を身に付けています。

ー サッカーをするようになったきっかけは

6歳ごろにテレビでサッカーを見て興味を持ったのですが、障がいが原因で仲間外れにされたことがあります。一般の方と一緒にサッカーをする勇気がなかなか持てませんでした。しかし、小学校高学年時に、「障がいがあるからといって、できないことはない」という父からの言葉に勇気をもらい、サッカーをするようになりました。声が聞こえないので、できるだけ周りの人の表情を見ながらプレーしています。

ー サッカーをしていて大変だったことは

高校生の時はサッカー部に所属していましたが、会話を止めて聞き直すことは申し訳ない気持ちがあったので、自分の耳のことをみんなにきちんと伝えていました。また、補聴器を着けていれば問題なく聞こえていると誤解されることが多く、ミーティングでも「なぜ聞こえないのか、真面目に聞こうとしている」と注意されることがあります。自分の考えが周りにしっかりと伝わらなかったことは大変でした。

ー 今後の目標は

デフサッカーは、デフリンピック（※）などの国際大会であっても無観客に近い状態です。後に続く子どもたちのためにも認知度を高め、2025年に開かれる東京デフリンピックでは、観客で埋め尽くされた最高の舞台で、みんなが誇りを持ってプレーできるような環境をつくりたいです。

先日行われたデフサッカーワールドカップで準優勝に輝いた堀井さん。現在は日本代表の影響力を生かし、積極的に講演活動も行っています。穏やかに話しながらも、目標に向かって突き進む姿に、信念を感じました。

（※）4年に一度開かれる聴覚障がい者のための国際スポーツ大会

問合せ先＝人権啓発推進課（☎64-1336）市ホームページではさらに詳しく紹介しています。

歴史・民俗
たなべのむかし

私たちの住むまちの歴史・民俗を不定期で紹介します。

No.8 鳥羽・伏見の戦いと月読神社

慶応4年（1868年）1月3日、薩摩・長州軍と旧幕府軍が鳥羽と伏見で衝突しました。4日には官軍（※）となった薩摩・長州軍に諸藩が合流し、旧幕府軍は淀方面に撤退しました。6日には橋本の戦いが起こり、隣接する石清水八幡宮も戦場となる恐れがあったため、祭神と神職は古くから交流があった大住村（現本市大住地域）の月読神社に避難してきました。避難中は薩摩・長州・因幡軍が警護し、大住村の人々も宿を提供するなど協力を惜しまなかったといわれています。旧幕府軍の敗走に伴い、8日には祭神と神職は石清水八幡宮に戻ったと記録に残されています。

（※）天皇・朝廷に属する軍



問合せ先＝市史編さん室（☎64-1301）



ハンドボール女子日本代表

強化合宿や試合を観戦しませんか?

11月29日(水)から北欧で開かれる、女子ハンドボール世界選手権に出場する日本代表「おりひめジャパン」が、本市で事前強化合宿を行います。

場所=田辺中央体育館

■強化合宿(2階観覧席で見学自由)

期間=11月13日(月)~17日(金)

時間=▼午前10時～11時30分▼午後2時30分～4時30分(17日は午前11時30分まで)

■エキシビジョンマッチ・ファン感謝デー(有料)

日時=11月12日(日)午後2時から

内容=▼オムロンピングディーズとの対戦▼両チームのサイン会

チケット代=▼S席(コート横)4,000円▼A席(アリーナ席)完売▼B席(立ち見)2,000円▼小学生以下1,000円

申込方法など詳しくは、2次元コード（＝右）



図)で確認してください。

問合せ先=京都府ハンドボール協会事務局・岡野(☎090-3035-6045)

广告

なごみ伝言板

作：南久美子



【勤労感謝の日】

■ 广告



令和5年10月1日現在の人口 ()内は前日比

人口 / 71,806人 (+49)
男性 / 35,087人 (+38)
女性 / 36,719人 (+11)
世帯 / 31,609世帯 (+54)

広報紙が届かないときは、シルバー人材センター(☎64-8822)まで

本広報紙は令和5年10月18日現在の情報を掲載しています。